



◎牧野幹事の赴任

本會幹事牧野雅樂之丞氏は本省土木局國道改良主任技師として多年勤務せられたが今回内務省下關土木出張所長に榮轉せられたが去五月十七日午後一時東京驛發赴任せられた。

◎伊勢大橋竣功式

一號國道に屬する三重縣桑名郡西桑名町と同郡長島村との間にある揖斐、長良の大川に架する伊勢大橋は工費百七十六萬餘圓を以て昭和五年九月以來架橋工事を施行したるが今回竣功したるを以て去五月二十六日盛大なる竣功式が舉行された、本省よりは内務大臣代理として唐澤土木局長

臨場せられた、内務大臣及水野本會々長の祝辭は左の通である。

祝 辭

一號國道伊勢大橋架設功ヲ竣へ本日茲ニ竣功ノ式典ヲ舉ゲラルル邦家ノ爲寔ニ欣慶ニ堪へザルナリ
由來一號國道へ帝都ト神宮トヲ連絡スル幹線道路ニシテ極メテ重要ナル地位ヲ占ムルニ拘ラス本會、揖斐、長良三大川ノ横過スル所橋梁ノ設備ナク道路交通上久シク遺憾トスル所ナリキ
三重縣當局深ク思フ此ニ致シ愛知縣當局ト相圖リテ三大川架橋ヲ計畫シ昭和五年本橋梁ノ架設ニ着手スルヤ政府亦之ヲ助成スル所アリ拮据經營三年有半今新式精緻ノ規畫ノ下ニ本橋ノ架設成ルヲ告ク曩ニ尾張大橋ノ竣功ヲ見規模宏壯ナル二大新橋連連シテ尾勢二國ヲ連絡シ古來傳稱セラレタル行路ノ難所ハ全ク改良セララル、ニ至リ東西ノ交通更ニ一段ノ利便ヲ加フ
念フニ今後之ニ依リテ産業ノ開發文化ノ進展ニ資シ國運ノ隆昌ニ寄與スル所極メテ大ナルモノアラム冀クハ維持管理宜シキヲ制シ以テ長ニ其ノ效果ヲ收メラレムコトヲ一言所懷ヲ述ヘテ祝辭トナス

昭和九年五月二十六日

内務大臣 山本 達 雄

祝 辭

伊勢大橋架設竣功ヲ竣へ本日茲ニ開通式ヲ舉行セラルル洵ニ欣幸ニ

堪へス

抑本橋ハ帝都ト神宮トヲ連絡スル一號國道ニ屬シ交通上最モ重要ナル地位ニ在リ而カモ一號國道ヲ横斷スル木會、掛斐、長良ノ三大川ニハ從來纔ニ渡船ノ便アルニ止マリ不便ヲ感スルロト久シカリキ

三重愛知兩縣當局ハ夙ニ此ノ不便ヲ除去スルノ急務ナルヲ認メテ架橋ノ計ヲ樹テ曩ニ尾張大橋ヲ架設シ今復本架橋ノ竣功ヲ告ゲ茲ニ其ノ施設ノ完成ヲ見ルニ至ル

惟フニ本橋成リテ交通上至大ノ利便ヲ加ヘ地方産業ノ開發ニ資補スル所尠カラサルハ敢テ言フ俟タス冀クハ將來之カ維持管理ニ力ヲ竭シ以長ニ其ノ効果ヲ收メラレシコトヲ一言所懐ヲ述ヘテ祝辭トス

昭和九年五月二十六日

道路改良會長

水野 鍊太郎

◎新刊紹介

内務技師 三浦七郎氏著「鋼橋」上卷
工學博士

三浦博士は周知の如く内務省國道改良掛主任の要職にあり、從來第一技術課に於て永年に亘リ全國の道路橋梁事業を指導監督せらるゝ重責にあつて、橋梁技術の造詣極めて深く斯界に於て自他共に許す權威者である。昭和六年博士が畢生の事業として、多年研究の結晶たる「鋼橋」を刊行されて以來出版部数は約一萬に達

し、廣く江湖の推獎を得、本邦の橋梁技術界に貢獻せらるゝ事も極めて多大であつた。

爾來本邦に於ける構造物の發達は益々顯著なるものあり、至難とせられたる木會、掛斐、長良の諸大川を始め、僻陬の深谷に至るまで典麗優雅の耐久橋を見るに至つたのは、自然科學の發達と相俟つて絢爛たる橋梁技術の進展に負ふ所頗る多きなものである。

博士には此の點につき常に細心の注意を拂はれて不斷の研究を續められたが、今回「鋼橋」第四版を發行するに當つて、大英斷を以て内容の改訂を決意され、目覺しき展開をなしたる最新橋梁の實例は勿論鋼の製造法及漸く擡頭せんとする電氣銲接の計算並に工法をも詳述し更に本邦に於ける既設數百橋の例に徴し鉸桁及トラスに對し略正確なる鋼重を與ふる實驗式を紹介せらるゝ等其他各章に亘り廣汎なる加除訂正を加へて之を上、中、下三卷に分割上梓せらるゝことになつた。

今回刊行された上卷には其目次に見らるゝ如く極めて廣汎なる範圍に亘り遺憾なく記述され、荷重並に強度論を始めとして鉸桁、連續鉸桁、ゲルバー桁橋の詳細なる説明と新たに橋桁の振動の理論及各種鉸桁橋の鋼重の圖表を加へられてある、殊に本書は難解の理論をも簡易に説明せられてある事と、細部構造に至る迄、些かも餘す處なく説明されてある點は、斯道の研究並に實務に携はるる人士にとつて絶好無二の参考書であり、同種の他の著書の全く追従を許さざるものと信ずる。引續き旬日を出でずして刊行さるべき中下卷と共に本書を座右に備へられん事を奨むる次第である(常磐書房 發行 定價三圓 内地送料 二十二錢)